

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

公立大学法人 名古屋市立大学

(2) 大学名

名古屋市立大学

(3) 大学の位置

〒467-8603

愛知県名古屋市瑞穂区田辺通3丁目1番地

(〒467-8601愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(トガリ ハジメ) 戸蒔 創 (平成22年4月)		
学長	(トガリ ハジメ) 戸蒔 創 (平成22年4月)		
研究科長	(ミヤタ ナオキ) 宮田 直樹 (平成23年4月)		
学科長等			

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成21年度に報告済の内容 (21)

平成24年度に報告する内容 (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成22年度開設の博士後期課程の場合(平成24年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
薬学研究科 創薬生命科学専攻 (博士後期課程) 博士(薬科学)	3年	8人	24人	基礎となる学部等 薬学部 生命薬科学科 薬学研究科 創薬生命科学専攻 博士前期課程

- (注)・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成22年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	7人	3人	0.88倍	
志願者数	()	()	()	()	(3)	()		
受験者数	()	()	()	()	(3)	()		
合格者数	()	()	()	()	(3)	()		
B 入学者数	()	()	()	()	(3)	()		
入学定員超過率 B / A					0.88			

- (注)・数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「社会人」については, 届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・[]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次							[] [] 7		
2 年次									
3 年次									
計							[] 7		

- (注) ・ 数字は、平成 2 4 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成21年度 入学者	人	人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度 入学者	人	人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度 入学者	人	人	平成23年度	人	人		%
			平成24年度	人	人		
平成24年度 入学者	7人	0人	平成24年度	人	人		0%
合計	7人	0人					0%

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計]を、[当該対象年度の入学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

< 薬学研究科 創薬生命科学専攻 >

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
特別演習	創薬生命科学特別演習	1～3	8			7	10	3 4	5		教員の退職(24)
特別研究	創薬生命科学特別研究	1～3	8			7	10	3 4	5		教員の退職(24)

- (注)・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で,前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお,昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については,見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について,届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても,届出時の状況を黒字で記入してください。また,前年度報告時より修正があれば,赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2			2	2			2	
				[]	[]	[]	[]	

- (注)・ 未開講である場合や,配当年次に関わらず,教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など,別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに,[]内に,届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て，小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体	
	校舎敷地	182,995.16 m ²	0 m ²	0 m ²	182,995.16 m ²		
	運動場用地	19,071.00 m ²	0 m ²	0 m ²	19,071.00 m ²		
	小 計	202,066.16 m ²	0 m ²	0 m ²	202,066.16 m ²		
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²		
	合 計	202,066.16 m ²	0 m ²	0 m ²	202,066.16 m ²		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学整備計画の進展(24) 大学全体 誤謬訂正(24)	
		207,949.98m ² 196,659.56 m ² (196,659.56m ²) (-141,672.43 m ²)	0 m ² (m ²)	0 m ² (m ²)	207,949.98m ² 196,659.56 m ² (196,659.56m ²) (-141,672.43 m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	79室	113室	55室	13室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室——数		2専攻共通	
	薬学研究科			41 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
		冊	種				
	薬学研究科	64,598〔35,653〕 64,551〔35,700〕 (63,347〔35,305〕)	1,317〔646〕 (1,445〔667〕)	6,433〔5,258〕 6,451〔4,915〕 (4,380〔3,479〕)	88 (88)	642 560 (560)	0 4 (1)
		計	64,598〔35,653〕 64,551〔35,700〕 (63,347〔35,305〕)	1,317〔646〕 (1,445〔667〕)	6,433〔5,258〕 6,451〔4,915〕 (4,380〔3,479〕)	88 (88)	642 560 (560)
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	8,122.36 m ²		518 席		773,333 冊		
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	3,267.9 m ²		野 球 グ ラ ン ド		テ ニ ス コ ー ト		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	544千円	544千円	図書購入費	9,616千円	9,631千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金(名古屋市)					

(注)・ 届出時の計画を，届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消した部分については，黒字で記入してください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延)がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称		名古屋市立大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員 定員	収容員 定員	学位又は 称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
薬学部									
薬学科	6	60	-	360	学士(薬学)	1.20	平成18年度	愛知県名古屋市瑞穂区田辺通3丁目1番地	
生命薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.28	平成18年度		
医学部									
医学科	6	95	-	537	学士(医学)	1.00	昭和25年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地	
経済学部									
公共政策学科	4	90	-	270	学士(経済学)	-	平成19年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	
マネジメントシステム学科	4	80	-	240	学士(経営学)	-	平成19年度		
会計ファイン学科	4	60	-	180	学士(経営学)	-	平成19年度		
人文社会学部			(3年次)						
人間科学科	4	50	10	220	学士(人間科学)	1.08 (1.00)	平成8年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地	
現代社会学科	4	50	10	220	学士(現代社会学)	1.06 (1.05)	平成8年度		
国際文化学科	4	55	-	220	学士(国際文科学)	1.10	平成8年度		
芸術工学部									
情報環境デザイン学科	4	30	-	30	学士(芸術工学)	1.03	平成24年度	愛知県名古屋市千種区北千種2丁目1番10号	デザイン情報学科は平成24年4月学生募集を停止
産業イノベーションデザイン学科	4	30	-	30	学士(芸術工学)	1.00	平成24年度		
デザイン情報学科	4	-	-	-	学士(芸術工学)	-	平成17年度		
建築都市デザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術工学)	1.04	平成17年度		
看護学部									
看護学科	4	80	-	320	学士(看護学)	1.02	平成11年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地	
大学の名称		名古屋市立大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員 定員	収容員 定員	学位又は 称号	定員 超過率	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
薬学研究科									
創薬生命科学専攻(前期課程)	2	36	-	72	修士(薬科学)	0.97	平成22年度	愛知県名古屋市瑞穂区田辺通3丁目1番地	創薬生命科学専攻(後期課程(旧))及び医療機能薬学専攻(後期課程)は平成24年4月学生募集を停止
創薬生命科学専攻(後期課程)	3	8	-	8	博士(薬科学)	0.88	平成24年度		
医療機能薬学専攻(博士課程)	4	6	-	6	博士(薬学)	1.83	平成24年度		
創薬生命科学専攻(後期課程)	3	-	-	-	博士(薬学)	-	平成13年度		
医療機能薬学専攻(後期課程)	3	-	-	-	博士(薬学)	-	平成13年度		

医学研究科						0.84		
医科学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士(医科学)	0.85	平成20年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
生体機能・構造医学専攻 (博士課程)	4	15	-	60	博士(医学)	1.00	平成12年度	
生体情報・機能制御医学専攻 (博士課程)	4	15	-	60	博士(医学)	0.73	平成12年度	
生体防御・総合医学専攻 (博士課程)	4	18	-	72	博士(医学)	0.90	平成12年度	
予防・社会医学専攻 (博士課程)	4	4	-	16	博士(医学)	0.31	平成12年度	
経済学研究科						0.85		
経済学専攻 (前期課程)	2	20	-	40	修士(経済学)	1.00	平成20年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地
経済学専攻 (後期課程)	3	5	-	15	博士(経済学)	0.20	平成20年度	
経営学専攻 (前期課程)	2	20	-	40	修士(経済学)	1.42	平成20年度	
経営学専攻 (後期課程)	3	5	-	15	博士(経済学)	0.53	平成20年度	
人間文化研究科						0.83		
人間文化専攻 (前期課程)	2	25	-	50	修士(人間文化)	0.78	平成12年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地
人間文化専攻 (後期課程)	3	5	-	15	博士(人間文化)	0.67	平成14年度	
芸術工学研究科						0.70		
芸術工学専攻 (前期課程)	2	30	-	55	修士(芸術工学)	0.85	平成12年度	愛知県名古屋市千種区北千種2丁目1番10号
芸術工学専攻 (後期課程)	3	5	-	15	博士(芸術工学)	0.67	平成14年度	
システム自然科学研究科						0.97		
生体情報専攻 (前期課程)	2	15	-	30	修士(生体情報)	0.90	平成12年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1番地
生体情報専攻 (後期課程)	3	5	-	15	博士(生体情報)	0.87	平成14年度	
看護学研究科						0.76		
看護学専攻 (前期課程)	2	24	-	48	修士(看護学)	0.90	平成15年度	愛知県名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
看護学専攻 (後期課程)	3	5	-	15	博士(看護学)	0.60	平成17年度	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科(AC対象学部等を含む)について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成
年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

< 薬学研究科 創薬生命科学専攻 >

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	スギキ 功弘 鈴木 孝禎 ()	平成24年4月	創薬生命科学特別演習 創薬生命科学特別研究						平成23年8月 退職 後任未定

(注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、研究科 専攻(課程) の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**認可時の計画**」には**当該学部等の就任時における満年齢**を、「**変更状況**」には**平成24年5月1日現在の満年齢**を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

認可時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
17	9	26	0	17	8	25	0	
(17)	(9)	(26)	(0)	[]	[1]	[1]	[]	

(注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	講師	鈴木 孝禎	
2			
3			

(注)・ 届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

講義・演習については、既存の専任教員により対応が可能であり、特段の問題は生じない。 冊子「履修の手引きと授業計画」で授業計画を明示するとともに、ガイダンスを開催して学生に周知した。

(注)・ 上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (2 4 年 4 月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<薬学研究科 医療機能薬学専攻>

<薬学研究科 創薬生命科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
	<p>本年4月1日に開設したばかりであり、現時点では変更事項はない。設置届出書の内容に従って教育が進行する見通しである。</p>

- (注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教員の資質の維持向上のための全学的な組織として、名古屋市立大学教育支援センターが新たに設置され、その運営委員会に薬学研究科から選出された委員が出席し、全学の活動と連携しながら薬学研究科のFD活動を行っている。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成24年4月24日 名古屋市立大学教育支援センター運営委員会、薬学研究科委員1名出席</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度授業アンケート調査について ・授業アンケートの実施方法について ・授業アンケート・大学満足度調査結果の公表について ・学習相談メールの開設について ・新任教員研修会について <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD講演会 ・新任教員のための研修会 ・認定実務自習指導薬剤師養成ワークショップ
--

b 実施方法

・FD講演会

日時：平成24年2月15日(水) 15:00～

場所：名古屋市立大学 看護学部棟308教室

講師：佐々木雄太氏（愛知県立大学学長、中央教育審議会大学教育部会長）

演題：大学教育改革の課題 - 中教審大学分科会の議論を中心に -

薬学研究科教員を含む45名が参加し、今後の大学教育の在り方について討論を行った。

・新任教員のための研修会

日時：平成24年4月26日(木) 10:00～11:30

場所：名古屋市立大学 薬学部実習棟OSCE1室

講師：中村 精一（薬学部 薬品合成化学教授）

平成24年度から薬学研究科に赴任された新任教員2名（准教授1、助教1）に対して、おもに、薬学研究科の教育・教務に関する組織、制度、現状について、説明し、質疑応答を行った。

・認定実務自習指導薬剤師養成ワークショップ

第34回（平成23年7月17 - 18日；於 名古屋い市立大学薬学部）と第36回（9月18 - 19日；於 名城大学薬学部）の2回、それぞれの2日間のワークショップに参加した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・FD講演会

薬学研究科教員を含む45名が参加し、今後の大学教育の在り方について討論を行った。

・新任教員のための研修会

平成24年度から薬学研究科に赴任された新任教員2名（准教授1、助教1）が参加。おもに、薬学研究科の教育・教務に関する組織、制度、現状について、説明し、質疑応答を行った。

・認定実務自習指導薬剤師養成ワークショップ

第34回と第36回のワークショップに、薬学研究科からは、それぞれ2名と3名の教員が参加した。現役の薬剤師、他大学の教員と2日間のワークショップを行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

新規に開設したばかりであるので、現状を把握しつつ、大学院教務委員会を中心に、カリキュラムや授業の時間割等について引き続き検討を行う。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

ほとんどの講義において、講義の最終回、オムニバス形式のものについては毎回、授業についての感想や意見を書かせている。

b 教員や学生への公開状況，方法等

公開は行っていない。

（注）・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（3）自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨と人材養成の目標に基づいて、順調に教育課程が進行しているものと判断している。

自己点検・評価報告書

平成22年度の教育研究活動に関する自己評価報告書を取りまとめ、平成24年3月に研究科ホームページに掲載することによって公表した。平成23年度についても、24年度秋には同様な方法で公表する予定である。

a 公表（予定）時期

・平成23年3月26日 公表（平成22年度分）

・平成24年9月～11月 公表予定（平成23年度分）

b 公表方法

・薬学研究科ホームページの「点検・評価」のページ (<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/main/check.html>) に、「名古屋市立大学大学院薬学研究科 自己点検・評価報告書」として公表。

認証評価を受ける計画

・平成22年度に評価機関（大学評価・学位授与機構）の評価を受けた。

（注）・届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

（4）情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 24 年 6 月 1 日)